

体育科 6年

単元名：ボール運動 ゴール型 バasketボール

本時のねらい	ボールを受けるための動きについて、兄弟チームで動画を確認してお互いにアドバイスしたり教師がゲームを止めた際にパスのもらい方を確かめたりすることを通して、工夫を考えて <b>伝える</b> ことができるようにする。
評価規準	ボールを受けるための動きについて、工夫を考えて <b>伝える</b> ことができる。
具体的な児童の姿	振り返りに「敵がいなくて動くところだとパスがもらえる」「前ばかりでなくボールを持っている人の近づいた、後ろに戻ったりするともらえる」「ボールをもらう時に、声をかけたり、手を上げたりするとパスがもらいやすい」などと書いている。

時間	児童の動き	指導○及び留意点・◎評価〈方法〉※支援を要する児童への手立て	準備物
8分	1. サーキット運動をする。	○サーキット運動を行うようにする。 ・あいさつ、健康観察、サーキット運動の順で行う。 ・サーキット運動はBasketボールの動きにつながるようにドリブル、パス、シュート、準備運動を一連の流れで行う。	Basketボール
5分	2. 本時のめあてを確認する。	○前時の振り返りから、本時のめあてを位置付ける。 ・前時の振り返りから、パスをもらうための動きについて困っている映像を見せ、どのようにすればよかったのか考えられるようにする。 ※切り取った画像をTVに写し、ペンで書き込みながら、動きや工夫が視覚的に分かるようにする。  めあて パスをもらうための工夫を考えよう	ホワイトボード・TV・タブレット・拡大掲示画像
25分	3. ゲームを行う ・ゲーム① 【10分】 ・話し合い 【5分】	○ゲーム①②を兄弟チームで撮影し合い、パスをもらうための動きについて話し合うようにする。 ※本時の中で、チームの中で試合中の動きを撮影する一人を決め、その一人を撮影しながら全体の動きが撮影できるように声をかける。	ビブス・得点板・タブレット・笛



・ゲーム②  
【10分】

・ゲームを途中で止めて、パスをもらうための動きを確かめることができるようにする。  
※動きや工夫が分からない児童には、ゲームを止めた時に、ボールがもらえる位置に動かして、ゲームを再開するようにする。

◎ボールを受けるための動きについて、工夫を考えている。

〈観察・学習カード〉



2分

4. 整理運動をする

○簡単なストレッチ運動を行うようにする。

5分

5. 学習の振り返りを行い、次時へつなげる

○めあてについての振り返りを行うことで、次時へつながるようにする。

・パスをもらうための工夫や本時の困りを出し合うことで、次時に向けて意欲が高まるようにする。

学習カード・筆記用具

① 6月9日	② 6月16日	③ 6月20日	④ 7月3日	⑤
めあて バスケットボールを よく	めあて 工夫したルールで ゲームに慣れよう	めあて パスの取合いの 球を 考えよう	めあて パスをつないで シュートを打とう	
ゲーム結果 ①VS 対 勝・引分・負	ゲーム結果 ①VS 対 勝・引分・負	ゲーム結果 ①VS 対 勝・引分・負	ゲーム結果 ①VS 対 勝・引分・負	ゲ ①VS
②VS 対 勝・引分・負	②VS 対 勝・引分・負	②VS 対 勝・引分・負	②VS 対 勝・引分・負	②VS 勝・
振り返り ☺・☺・☺	振り返り ☺・☺・☺	振り返り ☺・☺・☺	振り返り ☺・☺・☺	☺
私は、ルールがわかっていても無意識に違反しちゃったりするので、次は気をつけたいです。何より楽しんで試合をしたいです。相手とも団結しながらこれからも頑張りたいです!!	今日は、パスもよく繋げられたし、ルールもよく守れて良かったです。前まで気づかないうちにパンパン違反してた(w)けど、気をつけていると今回は、一回もしなかったのが良かったですし、入れられなかったシュートを2,3回入れることができて嬉しかったです!!	今回は、休憩タイムで心掛けたようにしたようにパスをする。危なっかしいロングパスはなるべく避ける様にすることを覚えると、あまりカットされなくて、ゴールまで近づけることができたので、これからも続けていきたいです。自分から、声懸ってる人に近づくこともできました!!	今回は、これまでのパスに続き、シュートを確ったんだけど、なかなか入らなくて難しかったです。これから百発百中に入るように頑張りたいです。仲の斜めを狙うコツを覚えてもらったので、それも意識してシュートを打ちたいです!!	

**1人1台端末の使用は効果的であったか**

- めあてを提示する際に、前時の困りをロイロノートで動画や画像で見せたり、書き込んだりすることで場面をイメージできない児童にとっても短時間で共有できることは有効であった。
- 話し合い活動の際に、撮影した試合の映像を見ることで具体的な話し合いになった。
- 学習カードをPDF化し、ロイロノートで振り返りを提出させることで、カードをなくす児童がおらず振り返りを次時につなげたり適切な評価につなげたりすることができた。
- 選手と目線が同じフロアで撮影することで、試合と話し合いの場面を一致させやすい児童が多かった。
- ▲試合撮影では、全体の動きを追ってしまうため、個人の動きを焦点化して撮影させることが難しかった。毎時間一人ずつ撮影できれば良いが、役割分担を決めて試合を運営しているため、毎時間、一人一人を撮影することはできない。今後は1時間ごとに撮影する児童を決めて、その一人を追いながら全体の動きを撮影していくことで、単元を通して2~3回程度は自分の動きを見直すことができるようになる。